

## 2023年度 伊豆急ケーブルネットワーク 第14回 番組審議会 議事録

日 時:2024年3月11日(月) 9:30~11:00

場 所:株式会社伊豆急ケーブルネットワーク本社事務所 会議室

### 番組審議会 出席者

委員:富岡 篤美 委員(会長)、杉山 修 委員(副会長)、石渡 久照 委員、  
平田 小百合 委員、浅見 和明 委員 (市川 正樹 委員、岩上 由美子 委員は欠席)

事務局:比企 恒裕(取締役 社長)、佐藤 功次郎(コンテンツ事業部 事業部長)、橋辺 淳(コミュニティチャンネルチーム リーダー)、林 桃子

陪席者:望月 結衣(IKC 業務委託「あつあつあたま」「Passion! SS 伊豆」番組ディレクター)

### 議題

- (1) 任期満了に伴う会長、副会長の選任(委員による互選)
- (2) 前年度審議番組についての振り返り(反映報告)
- (3) 対象番組についての審議
- (4) 弊社事業トピックス(新サービスの紹介など)

### 議事内容

- (1) 任期満了に伴う会長、副会長の選任(委員による互選)

富岡篤美委員を会長、杉山修委員を副会長に選任。

- (2) 前年度審議対象番組についての振り返り(反映報告)

番組名 地域ど密着バラエティ

「YOU YOU 湯河原」

「あつあつあたま」

「THIS IS ITO」

「みらっしえ東伊豆」

(各 15分番組)

- ご意見 インタビュアー、出演者の方のマスクについて。時節柄仕方ないが、表情や口の動きが分かりづらい。
- 反 映 昨年5月に新型コロナウイルス感染症の感染法上の分類が「2類相当」から「5類」に引き下げられたことをきっかけに、マスクを外しての収録を心掛けています。尚、高齢者施設や児童施設など、感染弱者の集まる場所での収録では、施設等の要請や、その時期の感染状況を鑑み、マスクを着用しての収録を行う場合もございます。
  
- ご意見 長いインタビューの場合は、他の情報を映像で挟むと飽きないのはいかがでしょうか。イベント紹介では、会場全体が俯瞰で見える画があるといいのはいかがでしょうか。
- 反 映 インタビューが長い場合は、間に声だけ活かし、会場の様子や、別撮りをした商品の紹介映像など、インタビューの内容に沿った映像を挟み込むなどし、視覚的に飽きの来ない映像にするよう心掛けております。また、番組の冒頭や最後など、俯瞰で全体が分かる画を使うよう心掛けております。
  
- ご意見 生の声がきちんと視聴者に聞こえるようにする方がよい。撮影時の周囲の環境などの配慮を。滑舌や話し方の速度なども影響があるが、極力現場で音声をクリアに収録する工夫を。
- 反 映 現場での生の音を出来るだけ使えるよう、インタビュー時には取材対象者とインタビュアーそれぞれにピンマイクを使用し、会場全体など、複数の音を撮る時にはガンマイクを使うなど、状況に合わせた音声収録を心掛けています。
  
- ご意見 (THIS IS ITO について) イベントの内容や、ルールなど、どういうイベントかを最初に説明があると分かりやすい。
- 反 映 今期シリーズとして放送している「居場所」など、活動の内容や経緯を、都度番組冒頭で説明し、番組の趣旨をご理解いただけるよう工夫しております。また、場所の紹介時に簡易地図を映像に差し込み、場所を分かりやすくするといった工夫も行っております。

(3) 審議対象番組についてのご意見

審議対象番組 「地域ど密着バラエティ THIS IS ITO」  
「Passion ! SS 伊豆」  
「ぼくたちわたしたち もうすぐぴかぴかいちねんせい」

岩上委員（欠席の為、事前にメールで頂戴した）

・ THIS IS ITO

伊豆伊東高校の校歌は初めて聞くので、画面にテロップをずっと出してほしかった。  
インタビューの内容は良かった。高校生の受け答えがとてもしっかりしていてびっくり。  
最後の SNS のアカウントを紹介したのも良かった。

・ Passion ! SS 伊豆

番組が 20 回目ということで省略されていたのだと思うが、番組が突然始まったので、  
最初にスタジオの司会者の社会人リーグの簡単な説明があった方が良かった。  
番組冒頭にサッカーのイラストがあったものの、社会人リーグとあったが、サッカーとい  
うことも途中まで分かりにくかった。

「普段どこで練習しているので応援をよろしくお願いします」「メンバー募集中です」み  
たいなメッセージを最後に書いてほしかった。軌跡は良かった。

・ ぼくたちわたしたち もうすぐぴかぴかいちねんせい

最初に司会者の説明が欲しかった。

「一年生になったら何を頑張りたいですか」という質問ではどうしても「勉強」と誘導さ  
れてしまうので、難しいかもしれないが「一年生になったらやってみたいことはあります  
か？」のような質問の方が良いのでは。

なりたい職業については、事前打ち合わせのせいか、答えているときにポーズをしている  
のが気になった。最後は自分にとって良いお顔の方が良かった気がする。

「はい、ポーズ」は何回も聞いていると気になるのでテロップにしてはどうか。

個人情報保護の観点からか名前のテロップがありませんが、下の名前をひらがなでも出せ  
ないのか。

質問している方の声が優しくて良い。

富岡会長

・ THIS IS ITO

伊豆伊東高校の校歌は初めて聞いたし、やはり新設校ということで地域の興味は非常に高  
いと思う。そこの高校を目指している子たちもたくさんいるので、高校の情報がもっと聞け  
ると良いかなと思う。生徒も少なくなってきた、中学校・高校で今一番困っているのは部活。

部活動が維持出来ない。そうした中で新しく合唱部を作って活動するというのはインパクトがある。

・ Passion ! SS 伊豆

社会人リーグについてや実際の勝ち負けの点数、相手チームについては、テロップで紹介があったほうがきちんと分かって良い。

JFL を目指すのであれば、ハードルは高いと思うが地域がかなり盛り上げていかないと、サポーターの力がないと今のサッカーチームは伸びていかない。そういった意味ではやはりこういったメディアの後押しがサッカーチームにとってはとても有難い。サポーターを集めること、またその士気も含めて地域で支援するところの広報の部分を IKC がやってくれば SS 伊豆もこれから頑張れると思う。引き続き頑張ってもらいたい。

・ぼくたちわたしたち もうすぐぴかぴかいちねんせい

(岩上委員の意見を踏まえて) 個人情報もあるしどこまで情報を出していいのかなというところがあるので難しいかなと思って観ていた。

杉山副会長

・ THIS IS ITO

インタビューするところの背景 (ロケーション) を少し工夫出来れば良い。その場で、みたいな感じになっている。

・ Passion ! SS 伊豆

せっかく昇格したので選手のインタビューなど見られたら良いと思った。

・ぼくたちわたしたち もうすぐぴかぴかいちねんせい

背景について、40 年くらい前の小学館の CM (子どもが走ってくる) のようにしても良いのでは。少し固い感じがしたので、もう少しキャッチーな感じで出来れば。

石渡委員

・ THIS IS ITO

インタビュー時の背景がプールの端や駐車場だったりしていたので気になった。

事前インタビューで喋っていたことの歌を、全て後のインタビューでフォローして流していた。また、インタビュー相手にいきなり下の名前が入っても親しみ感があってなかなかいいんじゃないかと思う。

高校生と高齢者の交流が良く分かって、「居場所」というテーマと合って良い。

最初の指揮者の方は先生なのか。生徒なのか。テロップが何も紹介が無かったので、生徒がやっているのかなと思った。ピンマイクが新しいもので、付けやすそうで良いなと思った。

・ Passion ! SS 伊豆

自分もサッカーに関わっていて、大変有難く思っている。一回の番組ではなく連載していただいているのはとても嬉しく思っている。サッカーとか「東海というのは何」とか、JFL が

どんなものか他のスポーツをやっている人は分からないので、ピラミッド型の図を用いて東海に上がってくるまでの大変さみたいなのを示していただければと思う。

カメラで下から撮っているが、齊藤市長は背が高いので、視線が仰いでるようで偉そうに見える。昇格の軌跡はとても良かったと思う。市長と話していた、最後のアディショナルタイムで入れた点が見えなかった。入れた選手が滑りこんで抱擁しているところだけだったので、上手く点が入っているシーンがあればシーンが繋がって良いのかなと思った。

地域貢献もしているのでまた取材などもしていただければ。

・ぼくたちわたしたち もうすぐぴかぴかいちねんせい

後ろが灰色のカーテンだったのは何か理由があるのか。人が変わるときに切り替わるエフェクトもあった。

先生の質問なのか、インタビューとしてお題を渡していたのか。おにわ保育園だけでなく湯河原・熱海・伊東とか全部を流すとのことで、90分番組と60分番組とあるが、繰り返し方が違うのか。

→橋辺：弊社のサービスエリアの中の許可を頂いた幼稚園・保育園。そちらを全部回って同じ様な形で収録している。年によって園児の数が多かったり少なかったりする。それらをまとめて一回では放送しきれないので、90分の番組と60分の番組の2回に分けて放送している。

インタビューしている時に後ろで優しい音楽でも流れていたらどんなイメージになるのか。ただ、それが良い訳ではなく、音楽が無いと子どもたちのはっきりとした声が聞けるという考えもあるかもしれない。

名前のテロップが無いことは気になった。質問と答えも、耳の不自由な方が字を見たい、我が孫のために、というときもあると思う。ちょっと聞き取りにくいところもあるので、文字があると一生懸命話しているところを拾ってあげられたかなと思う。

浅見委員

・ THIS IS ITO

伊豆伊東高校は合併したという側面もあってこの辺では大きな高校。合唱部が取り上げられたというのはすごく良かったなと思う。文化部というのは、ある程度運動部に比べて華やかさが少ない。合唱部や日頃あまり日の当たらない文化部にも、こういったところで日の目が当たる機会を与えてあげることが、部の存続等についても非常に大きな貢献になると思った。こういった合唱部の活動もある種の福祉活動に思うので、そういったところも継続的に取材をしていただければ有難い。

・ Passion ! SS 伊豆

代表の方の熱さがすごく滲み出ていた。東海1部リーグというのはどれほどすごいのかというところを説明していただくと良い。元々私は分からなかったのですが、後で調べてどれほどすごいコトなのか分かった。そういったスポーツの裾野の広がりというものも含めてすご

く良い番組、良い取り上げだったと感じた。

・ぼくたちわたしたち もうすぐぴかぴかいちねんせい

私の孫と同じ年で、感情移入をしてウルウルとして観ていた。

平田委員

・ THIS IS ITO

冒頭に地図が表示されていて場所が分かりやすかった。

「意気込み」の横に内容が表示されて良かった。校歌のみで良いので歌詞の字幕がほしかった。

地域との交流活動を取り上げた内容が良かった。活動を見る機会がないので、小中高生がどんな活動をしているのか今後も番組で観ていきたい。

感想のテロップがあって見やすかった。BGMの音量も良く、観やすく聞きやすかった。

最後のYouTubeとインスタグラムの紹介も良かった。和気あいあいとした雰囲気が伝わってきて、番組が変わったなという印象を受けた。

・ Passion ! SS 伊豆

対談の内容を聞きたいので、BGMが不要もしくは音量を下げてほしい。対談中は集中して観たいので、カメラを固定してほしい。インタビューはブルーボードの前で暗い雰囲気になっていたのも、記念写真を撮った場所でやってほしかった。

試合中や応援風景など、躍動感のある映像にはBGMがプラスされ、相乗効果もあり画面に見入った。盛り上がっている様子が伝わってきて良かった。

・ぼくたちわたしたち もうすぐぴかぴかいちねんせい

ほのぼのとしていて可愛かった。

皆さん「名前のテロップを」と言うが、親御さんたちはすごく個人情報に気にかけているので無くても良い。人数をいっぱい出してもらって細かく内容を掘り下げてもらったら良いが、子どもたちをその場所に立たせて喋らせてる努力というのはすごく感じた。大変だなと思った。

インタビューした子どもたちのその後を追いかけて、どうなっていくのかというところに興味が沸いた。

杉山副会長

20年くらい前のものを出しても良いかもしれない。

市川委員（欠席の為、翌日電話で頂戴した）

同じアングルが続くと観ている人が飽きるのだから、寄り引きなどの動きをもっと付けると良い。

—その他ご意見・ご質問

橋辺

先ほどの「ぼくたちわたしたち もうすぐびかびかいちねんせい」の件は、園児が自由なので元気に喋ってくれる子もいれば、もう全然喋ってくれない子もいる。どうしても喋らなくて後日もう一回撮りに行くこともある。困ることがあると先生の方を向いてしまうので、先生にカメラの後ろに立ってもらおう。

テロップの件について、最近は年を追うごとに個人情報に対して皆さん敏感になってきているなというのを感じている。また、ここ2～3年はコロナの影響もありみんなで集まって喋ったりするのは非常に感染の危険性が高いということで、昨年までは各園に対応をお任せしていた。そもそも撮っていいのか、撮る時にはお一人ずつ部屋に入って出ていったら消毒をしてもらおうなど。今年やっとコロナ以前に戻って集団で喋っていただけるところも出来て、一安心でした。

やはりテロップも、私たちは出来れば付けてあげたいところだが、文字に起こすと嫌がる親御さんたちもいらっしゃる。園によってはそもそも名乗らないというところも出てきて、いきなり「小学校に行ったら何をやりたいですか」と始まっちゃうのは違和感があるが、そこまでやっぱり個人情報に皆さん敏感になっているなという風を感じている。

石渡委員

本人が喋ることもダメになってきちゃいますね。

富岡会長

子どもって名前と呼ばれるとついて行っちゃう。

平田委員

小学校は名札をひっくり返すようになってますね。

橋辺

立ってもらっている時も名札を隠したり、名前の無いものを着てもらったりとかもしている。園によっては出しても大丈夫というところもある。そこは各園の判断にお任せしているところ。

佐藤

まさに富岡会長が仰ったように、統合されたからこそ市民の関心が高いというところ。伊東高校、伊東商業高校、城ヶ崎分校の3つが統合した。統合が発表された後、そのいずれの学校も定員割れしているような状況があった。結局どういう学校になるか分からないから、伊

東の子たちは下田高校や三島・沼津に通ったりする子が多くて、市外進出が問題になるくらいだった。でもやっぱり関心が高く、こうやって取り上げていくと市民の方が「こういう高校なんだな」とご理解いただける。ようやく今年定員を超えたみたい。そういった形でそれを伝えるのも我々メディアの力、役目なのかなとすごく認識させていただいた。

#### 富岡会長

自分らが若い頃は、伊東高校から大学へ行く、伊東商業出て地元で働くというのが定着していたから、そういう人たちが街の賑わいを求めてるんでしょう。伊東商業は新設校で、伊東高校は伝統があって、それぞれ張り合っているところもあった。伊東の街では2つの高校がとて大きなイニシアティブを握っていたのが一緒になり、人間は悪い方に考えるので、そういった面でちょっと離れちゃう。始めたら意外に良い感じだから今年辺りから生徒数が増えているようだ。

もっと地元で発信してあげないと、せっかく良い学校が勿体ない。ぜひ色々な面で取り上げてもらえれば嬉しい。色々な事情で、色々な学校があるが、地域としては高校が無くなってしまっは元も子もないので、なんとか地域の学校を応援していきたい。メディアの一つの役割かなと思う。

#### 杉山副会長

学校の先生の性格によって、地域に飛び込んで来ようとする先生たちと、全然出ない先生がいる。

#### 橋辺

情報発信も一部の先生は非常に熱心に我々にも「今度こういうのやるので来てください」という方もいらっしゃる。やはり温度感はかなり差がある。

#### 富岡会長

校長先生は熱心だが、先生からメディアに「お願いします」と言えない方がいっぱいいる。逆にメディアからアプローチしてあげないと、なかなか学校からは広がっていかない。

#### 橋辺

放送関係の部活があれば、私たちもニーズ的に厳しいところもあるので協力して番組を作ったり、または番組を持ってもらったり、そういったところも画策しているところ。なかなかお忙しいのか、レスポンスも私たちの方からどんどん言っていないと。一部の先生は熱心に興味を持っていただく方もいらっしゃるので、今後コラボ出来れば。学生さんは実際に自分で放送に乗るといふ楽しみも出来るし、我々もそういったコンテンツを貰って放送出来る。それぞれに良いところがあると思うので、これからやっていきたい。



富岡会長

高校はインターシップ、中学校は職場体験、これはどの学校もやっていることなので、メディアで受けてあげると、後々地元・IKCで活躍する子もいるだろう。取材されるのではなくて、取材するという機会を生徒たちに与えてあげるととても良いかなと思う。放送部って結構なインパクトがある。人前で話すというのは超特技。それを若いころに資質として持っている、大きくなって色んなところで役に立つ。そういった面でも学校と上手く組んでもらえれば。

佐藤

学校との連携は、我々も力を入れていかなければと思っている。今年度も熱海高校、伊豆伊東高校と組ませていただいて、色んなことをやってきた。将来的にはうちの社員にお迎えできる人もいるかもしれない。一度は東京に出ても、「あんな会社があったね」と戻って来てくれるきっかけになったり、そんな形になったら良い。

今頂いたお話を活かして。こちらから話しかけないと先生たちも動きにくいというところも、非常に貴重なご意見だと思った。我々としてもやれることを考えてアプローチしていけたらと思う。

富岡会長

FMでは良く言うが、教育と福祉は人としてのライフワークだから、それは地域としてのコミュニティ。放送局としては教育と福祉は外してはならない。それはやはり、ここに住んでいる人間の努めであり、僕ら大人のやらなきゃならないこと。やはり取り組むことが一番大事。

佐藤

サッカーの番組も、今は二週に一回更新。ずっと連続でやっている番組なので、我々もハッとしたのだが、初めて観る方もいらっしゃるので、どんな番組か分かるようにしてあげないといけないと思った。サッカーチームの代表は「地域をなんとかしかい」という思いがすごく強い方なので、我々もそれに飛びついて追いかけている。デュアルキャリアを強いると、必ずその地域に住み、企業で働いてサッカーをする。それをチームのモットー、ルールとしている。そういった面でも、絶対地域を疎かにしない。それでいながら上を目指すというそのチーム姿勢がすごく素敵なところ。なので今望月が一生懸命追いかけて、さらに伊豆の方々を知っていただけるようにもうちょっと考えていこうかなと、今色んなご意見を頂いて思った。

浅見委員

頑張っている選手がいっぱいおられるのは目に見えて分かる。仕事との両立、なかなか半端なことはない。ほんの少しでもその方々の側面をご紹介してあげるのも取っ掛かりになり、裾野がどんどん広がる。仲間に入りたいという方も出てくるのでは。サッカーに限らず、社会人のスポーツは仕事との両立を苦勞しながらも頑張っているという紹介も是非追っかけていただけると嬉しい。

望月

私はこの番組一年目で、この一年間でチームの流れというのが何となく掴めてきたと思う。来年度からは、企業で働いている選手も見せたいと考えている。熱海、伊東とエリア内で活躍している選手を見つけて少しずつやっていきたい。

—その他ご意見・ご質問

富岡会長

私が FM でいつもお願いしているのは、番組審議員は重箱の隅を突くわけではなくて、是非放送局を理解して、出来ればファンになっていただいて。放送局の背中を押してくださるような委員会であってほしい。この委員会もこれを機会に、もう少し番組をよく観て、IKC の番組に興味を持ちたいなといつも思っている。

(3) 弊社新事業サービスについて (佐藤)

今年度より光ファイバーの設置工事開始→完了

全ての地域で光サービスを開始。大規模な通信が可能になる。

STB という機械を設置して CS チャンネルをご覧になっている方にとっては、

従来の 42 チャンネルから最大 50 チャンネルになった。各家庭においても様々なメリットがある。

従来のサービスから光のサービスへの切り替えを全社一丸となって取り組んでいる。

【追記】

市川委員 (欠席の為、翌日電話にて意見を頂戴した)

・同じアングルが続くと観ている人が飽きるの、寄り引きなどの動きをもっと付けると良い

以 上